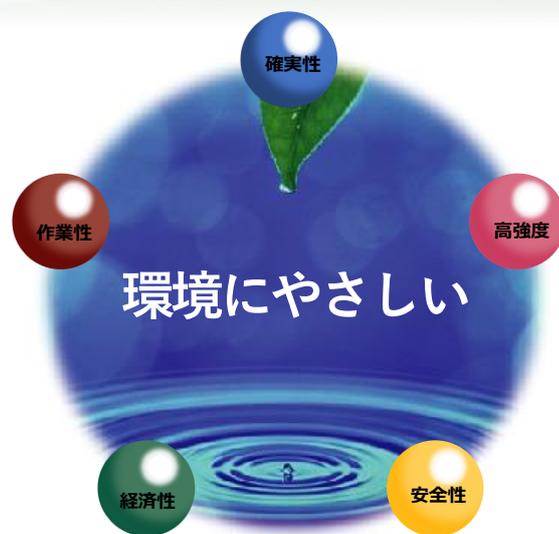


スーパーSRF

トンネル掘削に併用する補助工法として、注入式長尺先受工や長尺鏡補強工が多くの現場で施工されています。その標準的な注入材としてシリカレジン（スーパーSRF）が採用されています。

さらに、浸透性が要求される地山に対応するため、スーパーSRFの粘性を改善した低粘度タイプを開発しました。

スーパーSRF（低粘度タイプ）は「山岳トンネル工法におけるウレタン注入の安全性に関するガイドライン」に定められた注入材の選定基準に適合しています。



特徴

- ① 浸透性に優れ、地山の微細な亀裂や砂質土でも改良体を形成します。
- ② 従来の水ガラス系、セメント系と比較して硬化時間が短く、限定改良が可能になります。
- ③ 湧水下でも確実に固結し、成分の流出がないため地下水を汚染することがありません。

仕様

| 項目 | A液 | B液 |
|----------------|-------------------------|----------------------------|
| 成分 | 珪酸ソーダ水溶液 特殊改質剤 触媒 | 特殊プレポリマー 特殊粘度低下剤 整泡剤 |
| 一般性状 | | |
| 外観 | 微白濁液体 | 褐色液体 |
| 粘度 (mPa・s/25℃) | 40 ± 20 | 55 ± 25 |
| 比重 (20℃) | 1.41 ± 0.03 | 1.16 ± 0.03 |
| 配合比 (重量比) | A : B = 1 : 1 ± 0.1 | |
| ライズタイム (秒/20℃) | 180 ± 20 | |
| 圧縮強度 (MPa) | 1.0 ± 0.4 (3倍発泡時) ※ | |
| 自由発泡倍率 (20℃) | 2~8倍 | |
| 荷姿 | 20kg / 缶入り | |

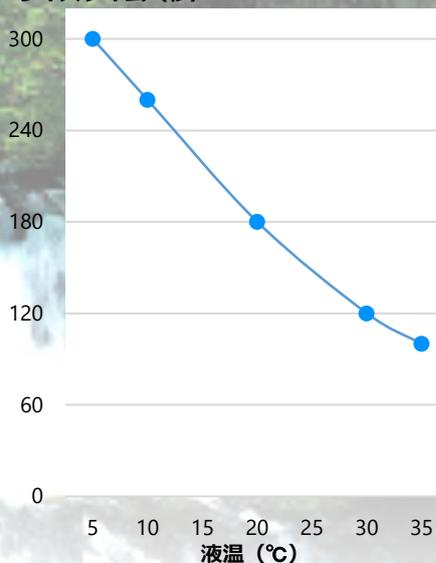
※圧縮強度は2020年に改定された「山岳トンネル工法におけるウレタン系注入の安全管理に関するガイドライン」にしたがい、新たに規定されたJIS K7220:2006「硬質発泡プラスチック-圧縮特性の求め方」によって測定しています。

※本パンフレット記載内容は、実験値に基づくもので、その記載内容を保証するものではありません。
※本製品は受注生産となりますので、お問い合わせください

粘度 (mPa・s)



ライズタイム (秒)



取扱い注意

スーパーSRFは『山岳トンネル工法におけるウレタン注入の安全管理に関するガイドライン』に適合した注入材で生体系に安全なよう設計されていますが、合成化学品ですので使用時には必ず下記の注意事項を守って作業してください。

- ① B液は危険物第四類第4石油類に該当するため、火気の取扱い、貯蔵保管は消防法に従って取扱ってください。
- ② 薬液を取扱うときは目、皮膚に直接触れないようにゴーグル型保護メガネ、保護手袋、防毒マスク（有機ガスマスク）を必ず着用してください。
- ③ 薬液注入中は坑内に局所換気装置を設け、換気を充分に行なう処置を講じてください。
- ④ 万一皮膚に付着したり、目、鼻、口に入った場合は速やかに大量の流水でよく洗ってください。炎症が出たり、痛みを感じたときには、速やかに医師の診察を受けてください。
- ⑤ B液はポリメリックMDIを主成分としており、皮膚に付着したり蒸気を吸入した場合中毒を起こすおそれがあります。また、アレルギー体質の方には発疹症状を見ることもあり、作業前に保護クリームを塗ることをおすすめします。

- ⑥ 薬液は噴霧状、吹付け、蒸気の状態での使用はさけてください。A液とB液の混合物は発熱反応により約100℃まで昇温し、熱ガスの発生がありますのでガスを吸わないように注意してください。また、薬液注入中は注入圧力および反応による発泡圧力により注入ボルトが飛び出すことがあるので注入ボルト後方で作業しないよう、また、リーク物が飛散することもあるので飛沫がかからぬよう注意してください。
- ⑦ 注入後のボルトをガス溶断することは、燃えたり有害ガスが発生するので絶対に行なわないでください。切断にはパイプカッターやディスクカッターを使用してください。
- ⑧ 液がこぼれた場合は土砂などで囲うか中和剤（水・アンモニア・液体洗剤）を散布して回収してください。
- ⑨ 空缶や残った薬液はみだりに捨てないで、まとめて保管し、適切に処分してください。
- ⑩ 保管は直射日光、雨水を避けてください。

お客様へのご注意とお願い

- ご使用前に必ず「安全データシート」(SDS)を読みください。
- 本パンフレット記載内容は、実験値に基づくもので、その記載内容を保証するものではありません。
- ご使用に際しては使用目的に適合するか、貴社の責任においてご確認下さい。
- ご使用になる前に、使用方法や注意事項等をご確認下さい。
- 記載内容は、断り無く変更する場合がありますので、ご了承下さい。

KATECS

株式会社カテックス 建設資材事業部

本社 〒460-8331 名古屋市中区上前津一丁目3番3号

TEL 052-331-8821

FAX 052-332-0164

ホームページ <https://katecs-kensetsu.jp> メールアドレス construction@katecs.co.jp

中部営業部 TEL 052-331-8821 FAX 052-332-0164

東京支店 TEL 03-3260-8321

FAX 03-3266-1648

仙台事務所 TEL 022-344-6041 FAX 022-344-6042

関西営業所 TEL 06-6578-3235

FAX 06-6578-3237

九州営業所 TEL 092-574-0856 FAX 092-574-0846

北海道地区 TEL 011-821-5868

FAX 011-821-6644

(株)エイチ・アール・オー